



地域の暮らしとせいさんをととのえる

ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科／地域デザイン、空間デザイン
菊地 良覺 KIKUCHI Ryogaku
教授、工学士



1. 研究内容

本学の工学部工業意匠学科（後にデザイン工学科）の共同研究室「第三生産技術研究室」では、1978年から東北・北海道を対象に『地域の暮らしと生産を高めるための実践的』を行っていた。筆者は1988年から共同研究に参画し、現在も共同研究の理念を基に継続している。具体的には地域産品開発（流通開発含む）、地域産品等の拠点施設の具現化等であるが、東日本大震災後は、特に手仕事を生業とし、甚大な被害を受けた宮城県石巻市雄勝（硯は国指定）の再生のための『雄勝いしのわプロジェクト』を立ち上げ、外部助成を受け「場・モノ・コト・人」づくりの再生支援を継続中である。



「岩手県旧大野村の実践一人一芸の村

2. 地域・産学連携の可能性

これまでの実践的研究では、地域自治体や産地組合等との受託研究で取り組んできている。

東日本大震災後の雄勝の支援に関しては、石巻市との協定締結を行い取り組んできている。

今後も大崎市岩出山竹細工に関する、歴史的・人的な情報統合の可視化と共に、その情報を基にした新たな地域自立に繋げるための展開施策等に関しての大崎市と本学との協定を視野に入れた研究活動を予定している。



大野村拠点「おおのキャンパス」整備の具現化



石巻市との本学との協定締結

執筆論文

宮城の地場産品復興支援「手のちから」プロジェクト
東北工業大学新技術創造研究センター紀要 EOS Vol.25 No.1 P49～P60、2012



地域自立、地域再生、自作自用、協働構築